



議員が町政全般について、町長以下町職員（執行部）に問い質します。  
6月定例会は、13人の議員が質問しました。  
主な質疑応答を、質問した議員が要約して掲載します。  
なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。（9月下旬掲載）

伊奈町議会 検索

ページ	質問議員	質問事項
6	村山正弘	●カーポートについて ●市街化区域の農地の固定資産税について
7	中原敦子	●「業務改善加速事業」の今後の取り組みは ●町職員のセクハラ対策の状況は ●伊奈町の子どもに「受動喫煙検診」の実施を
7	上野克也	●加齢に伴う身体機能の変化を自覚するなどの理由により自主的に運転免許を返納した高齢者に対し、日常生活における行政の支援について ●行政区と町との協力関係について
8	青木久男	●水害対策について ●成年後見制度の利用の促進について
8	上野尚徳	●超少子高齢化社会へ向けて、町の準備、取り組みは ●「総合振興計画」・「健康で心安らぐまちに暮らす」これまでの取り組みと今後の取り組みは ●ひともペットもきもちいい“マナーアップ”“フンの無い”ワンダフルなまちへ ●町・50周年記念へ向けて、「伊奈町の日」の制定など、町民に身近で楽しめる企画を
9	奥田とみ子	●「がん教育」実施に向けて ●“わくわく一年生”配信の是非について
9	大沢 淳	●手話言語条例をいかして ●特別教室へのエアコンの設置 ●国民健康保険税の減免制度 ●学校給食無償化に向けて
10	山本重幸	●伊奈町の将来像 ●行財政改革について ●丸山駅を核としたまちづくりは ●南部地区の問題として
10	水上邦雄	●町の活性化について ●非婚のひとり親の保育料の軽減について ●子供、子育ての充実を ●難聴者対策について
11	栗原恵子	●産後の妊婦ケアについて ●伊奈町地域福祉計画の進捗管理・評価について ●伊奈町社会福祉協議会との連携などについて
11	藤原義春	●伊奈町の企業のネット販売について ●英検3級の取得状況について ●伊奈町栄の多目的広場について ●伊奈町南部の道路冠水について ●不登校の児童・生徒の救済について
12	戸張光枝	●社会的孤立に対する施策「地域における訪問型就労準備支援事業」の取り組みについて ●災害弱者と外国人住民のための防災訓練の取り組みは
12	五味雅美	●道路整備の促進を ●ごみ集積所への補助を ●いなまる運行体制見直しは ●西暦表記に統一を ●プラスチックごみの収集日の増を ●街路灯LED化推進を ●ニューシャトル利用者負担の軽減を

住宅のカーポート設置には合法的手続きを



むらやまさひろ  
村山正弘 議員

**問** 設置に関して建築基準法上の手続きは必需か。  
**答** 10㎡を超えるカーポートは、建築物として確認申請が必要だ。  
**問** 町内の設置数、申請数の実態把握はどうか。  
**答** 埼玉県越谷建築安全センターの所管であり、町には建築に関する権限が無く記録もない。また、センターでも調査事例はないとのことである。  
**問** 建築基準法違反の内訳はどうか。  
**答** 大きく分けると、手続き・容積率などであるが建ぺい率には緩和規定



10㎡を超える2台用カーポート

があり、違反にならないことが大半である。  
**市街化区域内農地の固定資産税**

**問** 市街化区域内の農地について宅地評価額を165㎡1千万円として、宅地・農地・雑種地などの固定資産税はいくらか。  
**答** 農地3万3千円、雑種地6万8千円、住宅用地9万8千円（ただし住宅地は特例で6分の1の1万6千円）である。  
**有料貸し家庭菜園は農地課税、駐車場は雑種地課税となる。**

**問** 農地から雑種地に地目変更し、元に戻すことの行政手続きはどうか。  
**答** 登記の手続きとなる。  
**問** 市街化区域は住宅地なので、市街化区域内農地は住宅地にすべきでは。  
**答** 農地として維持するかどうかは地権者の判断だ。

業務アシスタントを全ての小・中学校に



なかはらあつこ  
**中原敦子** 議員

が増えた。

**「業務改善加速事業」の今後の取り組みは**  
1年間取り組んだ成果と課題は。

**答** 業務アシスタントの配置で、教職員の事務作業等の軽減が計られ、平日の時間外在校時間の減少や子供と向き合う時間

課題としては、町内全小・中学校に「カエル会議」を拡大し、保護者および地域住民の理解、協力のもと業務改善を推進していく。

**問** 町立小・中学校に業務アシスタントの配置を。

**答** 業務アシスタント配置の効果は絶大である。今後、業務アシスタントが配置できるよう、町の財政状況等を踏まえ、国や県に実践を通して要望していく。

**伊奈町の子どもに「受動喫煙検診」の実施を**

**問** 「受動喫煙」が、子どもに与える影響をどう捉えているか。

**答** 「受動喫煙」で赤ちゃんが呼吸器の病気や乳幼児突然死症候群の危険を高めたりする。「受動喫煙」を防止する措置を講じる必要がある。

**問** 将来的に「受動喫煙検診」を実施する考えはあるか。

**答** 「受動喫煙」の健康影響についての意識向上で「受動喫煙」防止を図るなど、啓発活動に重点を置いた対策を考える。



受動喫煙のない社会を目指して、健康な毎日を

高齢で免許証を自主返納した方への支援は



うえのこくや  
**上野克也** 議員

**問** 加齢に伴う身体機能の変化を自覚するなどの理由により、自主的に運転免許証を返納した高齢者に対し、日常生活における行政の支援は。

**答** 埼玉県警察の事業で運転経歴証明書を取得後、協賛店に提示で商品の割引等が受けられるシルバースポート制度がある。

**問** 今後の循環バス「いなまる」の台数増で、どの程度まで支援は可能になるか。また、伊奈町で考えられる支援策は。

**答** 高齢者などの足としての「いなまる」の運行

を実現するため、平成31年11月の運行開始を目標に運行本数の増便や運行時間帯の延長など、バスロケーションシステムの導入などを仕様書にまとめプロポーザル方式による業者選定を進めている。

**行政区と町との協力関係について**

**問** 区は高齢化や世帯数の増減など、色々な課題を抱えている。各地域で抱えている現状の課題は

**答** 町の平均高齢化率より高い区は16区となり、区に加入世帯の減少傾向があり、未加入世帯が合計4396世帯ある。

**問** 町の発展には行政区は不可欠な組織だ。将来に向けての町の取組みは

**答** 区の相談等には、真摯に対応する。また、住民自治に基づき運営が図られるよう支援する観点から今後も検討していく。

＜町行政区の高齢化率 他＞ 平成30年3月1日 現在

行政区名	行政区の全世帯数	高齢化率(%)	区に加入世帯数	未加入世帯数	加入率(%)
1 綾瀬北区	172	50.7	168	4	97.7
2 綾瀬南区	253	43.5	235	18	92.9
3 綾瀬東区	198	42.0	188	10	94.9
4 細田山区	439	39.7	392	47	89.3
5 中央区	338	35.7	273	65	80.8
6 光ヶ丘区	132	34.9	120	12	90.9
7 柴中荻区	716	33.3	486	230	67.9
8 柴南区	622	30.1	354	268	56.9
9 下郷区	781	29.3	516	265	66.1
10 柴中央区	784	27.7	457	327	58.3
11 丸山区	552	26.4	511	41	92.6
12 柴北区	989	25.6	620	369	62.7
13 小貝戸区	1,362	25.2	975	387	71.6
14 北本区	862	24.5	584	278	67.7
15 南本区	1,216	23.2	784	432	64.5
16 志久区	598	23.1	320	278	53.5
17 大針区	1,449	20.9	1,167	282	80.5
18 若櫻区	492	18.7	430	62	87.4
19 羽貫区	1,782	18.6	1,166	616	65.4
20 小針新宿区	1,548	18.2	1,280	268	82.7
21 小針内宿区	2,462	12.4	2,335	127	94.8
22 学園中央区	289	12.2	279	10	96.5
計	18,036	平均 23%	13,640	4,396	75.6

注：高齢化率は65歳以上の人口が総人口に占める割合。

行政区の高齢化が進んでいます

原市沼調節池掘り下げで更なる水害対策を



あおき ひさお  
**青木久男** 議員

**問** 昨年10月の台風21号は、48時間を記録し、町内ではあちこちに道路冠水の被害が発生した。

分とは言えない。すぐ上流で工事の上の池の早期の完成が望まれる。昨年の台風では今ある下の池の1と2は満杯となつてしまい、その結果水流が滞り各所で道路冠水をもたらしたと考えられる。そこで更なる水害



満水時（昨年10月）と平常時の下の池2

対策として、下の池をもう少し1メートルでも2メートルでも掘り下げて容量を増やしたら効果大と考えるが見解を伺う。

**答** 下の池については軟弱地盤の上、調節池の深さに合わせて護岸に矢板を打ち込んでいるため、掘り下げが可能かどうかは詳細な計算をしなければわからない。また、完成している施設の底面を掘り下げるには、莫大な費用が掛かることから難しいものと考ええる。

**成年後見の利用促進を**

**問** 認知症高齢者の増加に伴い、成年後見の必要性が増す傾向である。

今後、家族でなく専門家でもなく、その中間の市民が担当する市民後見の取組みが期待されるが、その支援策はどうか。

**答** 法律上の努力義務があり方法等検討していく。

永続的に持続可能な町となるべく準備を



うえの なおのり  
**上野尚徳** 議員

**超少子高齢化、人口減少社会へ向けた対応を**

**問** 生産年齢人口、高齢化率等の推計は。

**答** 生産年齢人口…2025年・2万9479人。45年・2万5945人。高齢化率…2020年23・5%、45年31・6%。

1人の高齢者を支える人数…2020年・2.6人。45年・1.6人。

**問** 歳入への影響は。

**答** 町税の減収が懸念。就業希望者が就業できる環境整備を進める。

**問** 扶助費（老人福祉費、児童福祉費等）の推移は

**答** 2008年度・7億6656万円。16年度・25億2637万円。今後増加傾向と考える。

**問** 元気な高齢者の働き場所、活躍場所づくりは

**答** 雇用環境整備が進み、求人多数。情報提供を行う。社会参加等の支援を行う。

**問** 高齢者が無料で集える場所を増やせないか。

**答** 難しいが、有効利用できるものを検討する。

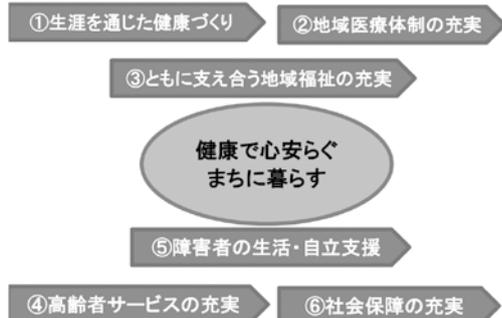
**問** 永続的に持続可能な町となるための対策は。

**答** 高齢者が健康で活力を持ち暮らせるよう支援を子育て世代へ切れ目ない施策。住みたいと思われ町づくりを進めたい。

**人もペットもきちいい。ワンダフルなまちへ！**

**問** ペットのフン、飼主のマナー向上へ対策を

**答** 警察や保健所、近隣等と情報交換し、見回り等の対策を研究する。



「まちづくり」の基本目標の1つ  
「健康で心安らぐまちに暮らす」

「がん教育」実施に向けて



おくだ 奥田とみ子 議員

**問** 「がん教育」については、過去3回議会質問しているが、いずれも保健領域の中で研究していくとの答弁だった。「がん教育」はますます重要視され、文部科学省は「がんに対する正しい知識は基礎的な教養」と位

**答** 「がん教育」はより充実した指導が求められ

ている。町としては、県の動向を注視し、新学習指導要領の内容に準じ、各学校を指導していく。

**〃わくわく一年生〃配信の是非について**

**問** 現在、小学校一年生を対象に、将来の夢を話してもらう、元気な一年生の姿を紹介する番組が配信されている。個人情報流出から事件に繋がるのでは、との心配する声を受け、配信の目的と個人情報流出の懸念をどう考えているのか。

**答** 今年度は、小室小と小針小が児童の映像を配信する不安から実施を見送っている。「テレビ版・入学アルバム」として夢や理由を話す活動は、高い教育効果があるが、個人情報流出には、不適切ならぬよう慎重に対応し、指導していく。



元気に集団登校する児童たち  
個人情報保護の対策強化で事件・事故に巻き込まれない取り組みを

特別教室へのエアコン設置を



おおさわ 大沢 淳 議員

**問** 小中学校の特別教室にエアコンの設置を。

**答** 設置率は約5割。財源等の検討をおこない設置をすすめたい。

**〃手話言語条例をいかにして**

**問** 今年度の事業は、職員向けの手話講座を開催する。

手話言語条例のパンフレットを全戸配布する。

敬老会や成人式など町のイベントでPRする。

小中学校での取組みは学校や教育委員会と協議したい。

**問** 手話通訳者の養成、確保のため、上尾市・伊



給食に地元産米を

奈町合同で通訳者養成講座の開催を。

**答** 他市との共同開催が可能であれば効率的。上尾市と協議したい。

**国保税の減免制度**

**問** 制度の概要は。

**答** 納付が困難になった場合の明確な基準がなかったため、減免の要件や割合などを定めた。

その世帯の平均収入金額が生活保護基準の1.3倍以下の場合を対象とする。(他にも要件あり)

**学校給食の無償化**

**問** BUY伊奈で地元食材活用の推進を。

**答** 昨年度中の使用率は21.2%。今後もBUY伊奈を基本に地元食材を積極的に使用する。

**問** 小中学校を通じ、第三子を無料化するにあたって必要となる財源は。

**答** 184名で、814万円の財源が必要。

## 南部地区の諸問題への取り組みを



やまもと しげゆき  
**山本重幸** 議員

財源的に早期実現は困難であるが今後計画的に実施していく。当面、除草等維持管理に力を注ぐ。

**問** いな穂街道、第4期事業、県道上尾蓮田線（伊奈中央線（西用水脇の町道）までの完成は。

**答** 駐車場等は管理主体である県と協議し、広く利用しやすい施設を目指して努力する。

**問** 当初計画より遅れているが諸課題の検討を急ぎ、早期完成を目指す。

**答** 市内沼調節池下の池2の有効活用を。



早期完成が待たれる、いな穂街道第4期事業（南小付近）

**問** 南部大公園の位置付けは。

**答** 都市計画法の近隣公園に相当するが、現在の利用状況等を考慮し、将来的にリニユールを考

えていく。

### 行政改革とは

**問** 基本は「首長のリーダーシップと職員の意識改革」だ。

**答** 同感だ。町民の立場に立った対応が大切と、諸機会を通して意識改革をうながしていく。

**丸山駅を核としたまちづくりを**

**問** 伊奈屋敷跡の今後は、策定中である「伊奈氏屋敷跡保存活用計画」を踏まえ、地元の皆さまとともに将来的な方向性を見出したい。

## 子ども・子育て支援の充実を



みずかみ けんじ  
**水上邦雄** 議員

**問** 少子高齢化が進むなか、独居高齢者と、かぎ

つ子への対策は急務。誰でも、どこでも利用できるものを目指し。

**答** 地域の居場所「ふる里」が、南地区・北地区

の2か所で開設されている。社会福祉協議会と連携して、綾瀬南区で3か所目を予定している。

**ニューシヤトル沿線の活性化を**

**問** ニューシヤトルは所

要時間の短縮と始発、終電の改善で利便性が向上している。沿線に本事業のある企業の誘致を。

**答** 新幹線側道が町に譲渡され町道になる。市街化区域もある。企業からの相談にオーダーメイド方式で対応する。

**災害時の**

**難聴者への対応は**

**問** 聴覚障がい者は、防災情報やサイレンが聞こえづらい。災害の発生を的確に知らせる方法が必要だ。

**答** 紙やボードでの筆談や耳元への会話で補う。

**子ども食堂の開設を**

**問** 少子高齢化が進むなか、地域の誰もが参加できる子ども食堂の開設を。

**答** 子ども食堂は、地域の共助による実施が最も良いと考える。相談があれば、町としてできる限り協力・助言をしたい。



新幹線側道の家屋

安心して子どもを産み育てるために



くりばらけいこ  
**栗原恵子** 議員

**問** 産後ケアサービスの現状と今後の取組みは。

**答** 保健師、非常勤助産師、看護師による全ての出生児への訪問と産婦ケアを実施し、産後の健康状態の確認を行っている。本年四月に設置した「伊

奈町子育て世代包括支援センター」において、妊婦期から出産、子育て期まで関係機関と連絡調整を行い、切れ目ない支援を提供する。また、訪問や乳児相談を通して産後の相談体制の充実を図る。

**問** 産後ケア事業を実施

すべきと考えるがどうか。

**答** 保健師や助産師が訪問して指導するアウトリーチ型については現在対応しているが、今後宿泊型、デイサービス型についても医療機関、近隣市と連携し、実施に向け研究していく。

**問** 医療機関や助産院での宿泊型やデイサービスのケアを受けられる利用券を配布したらどうか。

**答** 医師会、助産師会とも連携し利用者の受け入れ態勢ができた際には産後ケア利用券での対応も検討する。

地域の「居場所」づくり

**問** 誰もが集え交流できる居場所を町の中央にも。

**答** 居場所が高齢者が気軽に立ち寄り歩いて行ける範囲が理想。町の中央部をはじめ居場所のない地区には、地域の協力をいただき支援していく。



充実した「居場所づくり」の支援を

伊奈町南部の水害をなくすには



ふじはらよしほる  
**藤原義春** 議員

**問** 平成29年の台風21号による、伊奈町南部の水害状況は。

**答** 道路冠水による通行止めが11か所。建物の床下浸水が2棟。

**問** 綾瀬川と原市沼川の合流地点が狭すぎるので、この水害を引き起こすと

考えるが、合流地点の幅を埼玉県総合治水事務所に働きかけることについて、どう考えるか。

**答** 綾瀬川改修工事の早期完成を要望してはいるが、伊奈町まで改修が進むには、まだ相当の期間を要する。今は、原市沼

調節池の完成を埼玉県に強く要望している。

**問** 伊奈町の英検3級の取得状況は。

**答** 英検3級程度以上の割合は、30・2%である。

**問** 全国平均が40・7%で、埼玉県が41・9%だ。福井県は、62・8%と理想的な数字。福井県では、授業をオールイングリッシュで行い、生徒は自分の意見や思いを日ごろから英語で話している。

伊奈町の方針は。

**答** 教員の指導力向上を目指し研修への参加を促す。新学習指導要領全面实施までには、英語で行う授業ができるように進める。ALT(外国語指導助手)の配置は、3中学校に1名のみでネイティブな英語の授業が十分でないが、一層充実したものにしよう指導する。



綾瀬川と原市沼川の合流地点  
(写真右が合流部分)

## 社会的孤立に対する施策



とばりみつえ  
**戸張光枝** 議員

**地域における訪問型就労準備支援事業の取り組み**

**問** 町内のひきこもり調査を行ったことは。

**答** ない。

**問** 8050問題について80代の親と50代の無職の子どもの世帯は。

**答** 平成30年5月現在1

に鴻巣済生会病院によるアウトリーチ（家庭訪問や電話）支援事業が始まった。

**問** 地元で就労体験ができる体制作りや支援ネットワークとなる検討委員会有あるか。

**答** ひきこもりに対しての体制作りは今後の対応課題。

**問** 精神対話士の派遣と費用助成の考えは。

**答** 近隣市町の状況も参考に研究していく。

**災害弱者と外国人住民のための防災訓練の取組み**

**問** 周知方法は。

**答** 災害弱者や外国人住民に参加を促す特別な周知は行っていない。今後は積極的に参加を促していく。

**問** 今後の取り組みは。

**答** 近隣市の取り組み事例等を参考に検討、順次見直しを図る。



災害弱者や日本語がわからない外国人住民のための防災訓練は重要

## 道路整備の促進へ、効率的な更新計画を



ごみまさみ  
**五味雅美** 議員

**問** 危険箇所は速やかな修繕は当然だが更新時に再び掘り返すことになる。

**答** 直近3年の合計で、緊急修繕が100か所約3千万円、それ以外が41か所約8千5百万円。舗装道路は15年更新、40年

で推計184億8千万円。

**問** プラスチックごみの収集促進を。

**答** 回数を増やすのは大きな費用負担。町内のスーパーで行っている自主回収の活用を推進する。

**問** 街路灯LED化は。

**答** 町全体約4千灯余り、

うち国の補助対象等で防犯灯2300余りがLED化済み。残りは今後交換時などに順次行う。

**問** マイカーに依存しないで暮らせるために「いなまる」の役割は大きい。

**答** 公募型プロポーザル（提案）方式で委託業者を選定する。来年11月リニューアル予定。

**問** ごみ集積所の補助は。

**答** 購入費の2分の1で、上限2万5千の補助制度。軽減を。定期代を補助する自治体も出ている。

**答** 新都市交通の経営会議等で通学定期代引き下げの要望をしている。

**問** 西暦表記に統一を。

**答** 改元の都度、費用と混乱が繰り返される。

**答** システム改修で490万円かかる。公的文書が元号表記で、また慣習もあり統一は難しい。



ごみ集積箱の改善に補助金の活用を